

計算書類に対する注記

平成20年3月31日

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的の債券は、償却原価法(定額法)による。

(2) 固定資産の減価償却方法について

定率法による。

(3) 資金の範囲について

資金の範囲は、現金預金、短期金銭債権債務及びこれに準ずるものとする。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載のとおりである。

(4) 消費税等の会計処理について

税込み方式による。

2 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金	229,475	193,622
預金	41,762,430	55,090,401
未収金	99,960	353,976
貯蔵品	128,073	167,824
前払金	8,767	0
合計	42,228,705	55,805,823
未払金	1,423,093	1,372,039
預り金	734,982	665,819
前受金	1,265,900	0
合計	3,423,975	2,037,858
次期繰越収支差額	38,804,730	53,767,965

3 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	62,055,000	38,625,222	23,429,778
建物付属設備	21,748,700	20,781,587	967,113
構築物	1,341,000	1,234,874	106,126
什器備品	16,345,755	14,883,524	1,462,231
合計	101,490,455	75,525,207	25,965,248